

2024年度 メリー★ポピンズ 赤羽ルーム事業報告書 (保育所における自己評価)

1. 2024年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

近年北区では、待機児童がなくなったことで保育サービスの差別化が必要となってきている。その中で地域の方たちや近隣園との交流機会を増やし地域全体で子どもたちを見守り育てていく環境構築に努めてきた。認証保育所としての必要性を十分に理解し継続した保育環境の拡充を行っていきたい。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生活力の体得
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な距離感から子どもたちを見守り保育を行ったことで、身の回りのことを自分でやろうとする意欲をもたせ行動する姿が見られるようになってきた。 ・一人ひとりの発達や発育に応じて戸外活動の場や活動の設定を行った結果、散歩や戸外活動に意欲的な姿が増えた一方、2歳児程度になると戸外活動を嫌がるなどしっかりと意思表示をする児の姿が見られるようになった。
	次年度方向性	・園児一人ひとりの気持ちや思いを引き出したり寄り添ったりする中で、戸外だからこそ感じられる不思議をたくさん体験できるようにする。
2	計画・ねらい	10の姿の体得（幼児期に向けて）
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児を中心に移動保育先や近隣園との交流を通して幼児を身近に感じながら遊び方を真似たり意識をしたりしながら過ごす姿が見られるようになってきた。「自分で行う、挑戦してみる」気持ちを少しずつ培われてきた。 ・様々な初めての経験を大切に丁寧に見ていく ・見たこと、感じたことなどの五感に共感し言葉をのせていく ・人との関わりが十分もてるように地域資源を有効活用する
	次年度方向性	・近隣園や移動保育先の幼児との交流を企画し、定期的な交流を図る。
3	計画・ねらい	子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
	実践結果	・月齢に応じた玩具や道具を身近に置き、自ら触れたり他児を見たりしながら真似してみようとする姿が見られた。
	次年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具や道具、室内環境を定期的に見直しの実行。子どもたちの様子に応じた環境設定の実行をする。 ・
4	計画・ねらい	一人ひとりの成長や欲求に寄り添い安定した生活リズムの確立を図る。 く

		つろぎ安心できる時間・空間・関わりが保障されることを大切にしてい
	実践結果	・ 『動』と『静』のバランスを考慮し定期的な保育環境の設定を行う。日々子どもの心情・意欲・態度を受け止めながら試行錯誤しながら一人ひとりと向き合っていく
	次年度方向性	

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	信頼できる安心・安全な保育
	実践結果	・ 日頃の保育内容や活動の目的、職員の関り等を丁寧に伝えることで、信頼関係を築いていく（タイムライン、ポートフォリオ、ドキュメンテーションなどの活用） ・ 連絡帳や対話の中から心情を拾い、寄り添っていくことで気兼ねなく相談し合える関係性を築いていく ・ 運営委員会などで提案いただいた事柄は迅速に対応し、進捗状況や結果を丁寧に伝えていく
	次年度方向性	・ 継続して応対時には保護者の心情を拾い相談がしやすい関係や環境づくりを行う。
2	計画・ねらい	心のこもった接遇
	実践結果	・ 年間2回の接遇研修の実施。相手を思いやった応対をすることで子育ての悩み相談や喜びの共有する機会が増えてきた。 ・ 接遇に関してのご意見もいただいた。
	次年度方向性	・ 定期的に職員の接遇研修を行い常に気持ちの良い応対ができるようにする。
3	計画・ねらい	保護者同士の交流の場を設け、共感、共有できる横の関係を作る
	実践結果	・ 年2回行われた保護者懇談会では参加家庭は少なかったため、保護者同士の交流時間が多かったことで、保護者全員が話をする機会が持てた。同じ悩みを共有したり、困ったことの解決策を考えたり、情報の共有をするなど良い機会となった。 ・ 成長を伝える行事の際には参加した保護者同士が自由に話し、交流する場面が多く見られ、充実した時間がもてた。 ・ 土曜開催の子育てサロンではチラシを見た保護者同士で声を掛け合い参加する姿もあった。
	次年度方向性	・ 保護者を巻き込んだ行事の開催や広報活動を増やし、関わりやすい関係や環境を整える。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	園で行っているイベントの情報や認証保育園の役割を発信し、多くの方に利用してもらう
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりの Web 化に伴い子育てサロンやイベント等を認知している方が少なかった。近隣の施設に紙ベースのチラシを掲示していただくことで参加者は少しずつ増えていった。 ・青空保育は気候や感染症の流行時期などに左右されることも多かったが、園見学で配布したお便りや地域に設置しているチラシを見て参加してくれた方も多かった。
	次年度方向性	近隣施設へのチラシ等の掲示依頼を積極的に増やす。園見学で来られた方たちへの広報も増やしていく。
2	計画・ねらい	地域の子育て相談の場としての役割を全うし開かれた施設になる
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・青空保育では公園に遊びに来ている親子に積極的に声をかけ、参加してくださった方との交流時間を少しでも多くもてるように心掛けた。 ・園外では挨拶をしっかりと行っていたことで園見学や一時保育の契約まで結ぶ方がいらした。
	次年度方向性	・継続して全職員がすれ違う地域の方に対して気持ちの良い挨拶ができるようにし、来訪や相談がしやすい雰囲気を作っていく。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	職員自身の生活力を向上させる
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の物事のとらえ方や保育観が凝り固まらないよう交換研修の実施。 ・園会議内でインプット・アウトプットする時間を設けた。
	次年度方向性	継続して職員の交換研修や法人の保育、自身の保育観について他者の前でアウトプットする機会を設ける。
2	計画・ねらい	子どもの発達を捉えた活動計画や環境を整える力をつける
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある環境を生かし、工夫することに難しさを抱えつつ、職員間で話し合いの場を設けられることを少しずつ行った。 ・食事や午睡の環境については、子どもたちの状況を考えながら細かな修正を日々行うことができていた。
	次年度方向性	・園内での子どもの様子の共有する場を確立する。他園研修や他園施設長などのアドバイスを受けながら日々の活動を充実させていく。
3	計画・ねらい	自ら積極的に学びたい意欲の向上心をもち一人ひとりが高い意識で保育を行う
	実践結果	・園長大学®保育士大学のコンテンツを生かし切ることができなかったが、社内での公開保育や会議等で学びを深め園会議ないでアウトプットする機会を持つことができた。
	次年度方向性	園長大学®を園会議の時間に活用したり、視聴後のディスカッションを行ったりすることで自然に学ぶ意識を高めていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	給食残渣を減らす
	実践結果	1, 2歳児を中心に給食の盛り付けを実施。自分の食べたいものや食べられる量を知ってもらいながら食への興味関心を深められるようにした。
	次年度方向性	生活と畑活動、食物とのつながりをより密接にし、食への興味関心をさらに深められるよう連続した活動や生活を行う。

〈6〉地域を巻き込んだ子育て

1	計画・ねらい	どろんこサポーターズの活動の継続
	実践結果	どろんこサポーターズ2年目でまだまだ認知されていなかった。立候補家庭は無かった。
	次年度方向性	どろんこサポーターズの存在や他園での活動例を積極的に広報する。
2	計画・ねらい	地域の方とのイベント開催
	実践結果	どろんこまつりをはじめ、子育てサロンの実施と地域の方に広報し参加していただくことはできた。図書館開催のおはなし会に参加するなど交流はあった一方で、地域の方と何かを催すまではいかなかった。
	次年度方向性	・自治会や近隣の方との交流機会を図る。 ・近隣施設との交流機会を増やしていく。

2. 施設運営

〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	6人	5人	7人	0人	0人	0人	18人
年度後半： 10~3月	6人	6人	7人	0人	0人	0人	19人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	15人	14人	17人	15人	19人	10人	31人	25人	17人	12人	14人	19人	208人

うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	16人	20人	20人	12人	14人	19人	101人
-----------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

（解説））3月1日現在の実績のため、3月の利用状況は予約数より予測したものです。

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	10人	1人	0人	1人	0人	4人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	23人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

（解説））3月1日現在の実績のため、3月の利用状況は予約数より予測したものです。

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	3人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	3人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園内研修 ・人権チェック ・行事確認等
給食運営会議	月1回	離乳食進捗共有、アレルギー児共有確認、食育計画進捗確認 など
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿から起こり得るリ スクの検証や防止策の検討

ケース会議	無し	対象児無し
年間策定会議	2回	次年度の保育計画作成、年間行事作成

〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議	月1回	施設長
施設長勉強会	月1回	施設長
食育会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長、調理スタッフ
保健会議	年4回（5.8.11.2月）	施設長
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉系の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に水場やトイレなどの清掃状況を確認し、衛生管理を行った。 ・衛生管理点検表をダブルチェックし、漏れがないように努めた。 ・次年度も引き続き行っていく
安全対策係	<ul style="list-style-type: none"> ・点検チェック等はスタッフと行い、日常の安全対策については、会議等でディスカッションを行い、安全面に配慮をした。 ・次年度も引き続き行っていく。
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・年間避難訓練計画に沿った計画をスタッフと立て、訓練でしかできない細やかな行動確認、振り返りを行った。 ・園の環境に合った避難計画、行動計画を今後も検討し、有事に備えていく。
食品衛生管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・食材保管場所の衛生、温度湿度管理を日々行い、記録に残す。 ・調理室内の衛生状態を常に保っている。 ・引き続き、園生管理に配慮していく。
畑係	<ul style="list-style-type: none"> ・計画していた作物はほぼ育てる機会が得られ、土づくり、種まき、苗植え、水やり、収穫等の一連をたくさん経験できた。 ・今年度はプランターの栽培が夏野菜を除いて不作であった。引き続き行うとともに、酷暑でうまくいかなかった畑の栽培も少しでも上手くいくように畑利用園と力を合わせていく。

生き物係	<ul style="list-style-type: none"> ・プランターの野菜からモンシロチョウの幼虫を虫かごへ移動し飼育。 ・長期にわたる生き物の飼育が叶わなかったため次年度は飼育の計画をたて生き物に触れられる環境構成を行う。
------	---

〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の地域来訪者数が47人。好評を得たが昨年度に比べ来訪者数が減少。 ・次年度は地域への広報活動の開始のタイミングや広報の仕方を工夫していく。 ・大人数にも対応できる企画や、飲食の充実も視野に企画していく。
保護者参加行事係	<ul style="list-style-type: none"> ・園会議を使って職員間での計画や企画立案はできた一方で日常での打ち合わせ等が十分にとることができなかった。次年度では計画的な話し合いの場を設定していく。

4. 保育支援

〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ・発達について ・登園を嫌がる時の対応。 ・イヤイヤ期の対応。 ・離乳食相談。
保育参加	<p>4～3月まで 合計1名 が参加済み (3月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活や保育者の関り等知っていただく良い機会となっている。
保護者面談および発達相談	<p>4～3月まで 合計1名 が参加済み (3月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発育や個性についての相談。園での様子と家庭での様子を互いに伝えあった。
運営委員会	<p>運営委員会を6月11日・11月22日にメリー★ポピンズ 赤羽ルームにて実施し、参加した保護者7名 詳細は議事録に記載</p>

〈2〉計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載

・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	食事の環境を整える
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食は少人数で個々に対応し、咀嚼の様子、食べ具合など調理スタッフと連携しながら丁寧に行った。 ・1年間かけて行っていった完全バイキングへのステップアップ。 ・段階毎に食事の環境の見直し、改善を繰り返し行っていった。
	次年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・進級児はできることを継続し、新入児は個々の様子を見極め、できることから始めていく。 ・0歳児は引き続き、個々の口腔発達に応じた食事の環境を提供する。
2	計画・ねらい	自分で食べる意欲を育てる
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2歳児は配膳される食事から盛りつけられた皿を取りに行くことを始め、おやつのバイキング、昼食のおかわりのバイキング、昼食の盛り付け、バイキングとステップアップしていった。 ・0歳児も仕草やオノマトペを使い、親しみのある職員との楽しい雰囲気の中で安心して食事ができるようにした。
	次年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちの様子を把握しながら意欲を育てていく。
3	計画・ねらい	好きなものを増やす
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・畑やプランターで収穫したものは食育活動日だけでなく、当日の食事の食材になる等、食べることが楽しみになるようにした。オクラや夏野菜等普段は敬遠しがちな食材も食べてみようとする姿も見られた。 ・苦手なものは無理強いせず、食べてみようとする気持ちが芽生えるまで待つようにした。
	次年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も引き続き、様々なものに触れ、食べてみたい、食べてみようとする気持ちを育てていく。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月20日／11月26日に実施
歯科検診	実施なし
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）

その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 5月7日に自園にて手洗い指導を実施 ② 11月8日に自園にて鼻水の拭き方、かみ方を実施 ③ 1月14日に自園にて歯磨き指導を実施
流行した感染症	流行した感染症等はなし
発作・痙攣等の対応	対応児なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・2024年3月23日にメリー★ポピンズ 赤羽ルームにてキックオフミーティングをスタッフ名8が新たに受講し習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ8名のうち、8名が使用可能
AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	・各自救命救急講習を受講済み。普通救命救急を ・本日時点で、在籍スタッフ8名のうち、5名が使用可能
その他保健に関する取組	・流行しやすい感染症が発生したときは、保護者への通知（掲示やアプリ使用）を行う。また、発生時には園内の消毒などを徹底して行う。 ・新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検（法定1回/3年）	業者による対象物の法定点検 2023年実施済み ※対象物がない園及び JW 園は削除すること
	フロン点検（簡易）	対象物の簡易点検4・7・10・1月の25日に計4回実施
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 0日

	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月26日、10月21日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月20日、11月26日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月26日、10月25日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	9月17日～10月7日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	一人ひとりに合った経験の選択ができる環境を整える
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児の異年齢児が同一空間で生活するため、どの発達においても満足のいく環境を整えるのは難しい面も多く苦戦した。 ・日によっては仕切りのある2空間を活用し、運動遊びや机上遊び、制作活動の場として提供することができた一方で、静と動の空間の常態化や過ごし方について子どもたちと考え合ったり共有したりするのが課題であった。
	次年度方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・仕切りのある2つの空間を工夫次第でもう少し有効活用ができると思われる。大人都合にならず、子どもの活動を主体に環境を考えていく。 ・雨天時など室内で過ごす時間が長い日は大人が遊びの中心になってしまいうことが多かったので、子どもたちが考えて工夫できる表現活動がいつでもできるように準備していく。
2	計画・ねらい	命をいただく気持ちを育む
	実践結果	魚の入手状況もあり当年度内で命をいただく活動は未実施。畑やプランター、散歩先で捕まえた虫等、都度身近な生き物に触れたり飼育したりして命の大切さについて感じる場面が見られた。
	次年度方向性	生活と生き物の接点がより身近に感じられるような商店街ツアーを設定したり、自分たちでお店に行き購入したりし命をいただく体験の実施。

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った自衛消防組織を基に避難訓練を毎月1回行う。 ・防災自主点検を年2回行う。 ・日常点検の実施。
2	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止チェックを年4回行う。 ・設備点検チェックを年4回行う。 ・事故防止委員会の実施。 ・怪我発生時には法人のケガ発生時フローチャートに従い対応。
3	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入訓練を年2回行う。 ・職員全員笛の携帯を日々確認。 ・自治体や保護者との不審者情報を共有。
4	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「光化学スモッグ注意報発令配信メール」に登録し、発生時には行政指示に従い行動した。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振返り

実習性の受け入れはなかったが、職業体験で高校生を一人受け入れる。保育士への興味をもっていたこともあり質疑応答の時間を有効に活用していた。

〈2〉実習生の受入

受け入れ無し

〈3〉中高生の受入

日程	学校名	人数
7月22～23日	東京都立 芝商業高等学校	1人

7. スタッフ研修

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	26日 8名	24日 8名	21日 8名	26日 8名	23日 8名	20日 8名	25日 8名	15日 8名	20日 8名	24日 8名	19日 8名	10日 8名
園内研修	26日 8名	24日 8名	21日 8名	26日 8名	23日 8名	20日 8名	25日 8名	15日 8名	20日 8名	24日 8名	14日 6名	2日 6名

〈2〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	17日 1名	15日 1名	27日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	17日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	21日 1名
施設長勉強会	16日 1名	14日 1名	26日 1名	17日 1名	21日 1名	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	17日 1名	19日 1名	19日 1名
全社員研修	11月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											

〈3〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

天候等に応じて商店街ツアーやシニア交流の実施ができた。限りある関わりの中で多くの職業や人たちを知ったり関わってみたりすることができた。

近隣の保育園や短大生との交流の場を定期的に設けていきたい。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育(保育園主催)	月1回 公園名: 赤羽公園にて 参加延べ人数: 6名
商店街ツアー	週1回 主な行き先: 赤羽警察署岩淵交番、米屋うえのや、岩淵郵便局、ASA 赤羽、角上魚類、赤羽駅、のぐち薬局、お茶屋金子園、山下商店、和菓子屋伊勢屋、パン屋サンメリー等
世代間交流	11月14日に星美学園短期大学にて造形ゼミの学生と交流を実施
異年齢交流	6月4日にぽけっとランド赤羽にて幼児交流を実施

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

＜1＞ 今年度の振り返り

該当なし

10. 要支援児

＜1＞ 個別支援計画の作成・見直しの状況

今年度、対象園児なし

11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2名	3名	10名	42名	13名	19名	29名	8名	5名	18名	23名	8名	180名

実施項目	詳細												
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施 来園延べ人数：13名												
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件												
子育てサロン	月1回 参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	9名	0名	12名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっぐだより	毎月1日発行												

12. 園運営の向上

＜1＞ 福祉サービス第三者評価の受審

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構に依頼して受審済み

アンケート配布日：9月17日

アンケート回答率（スタッフ）…100％／アンケート回答率（保護者）…80％

経営者ヒアリング・施設長ヒアリング・園審査：11月11日に実施

（省察）

子どもたちの主体性や自立を促すために保育者ができることを含め法人の目指している保育や園、個人の保育観の重点を良く評価していただいた。

〈2〉園による自己評価の実施

2024年10月25日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：18時00分

自己評価終了時刻：20時00分

自己評価実施者：佐々木俊彦、石濱律子、有馬優貴、内田千穂、井口由起子

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：9月17日

アンケート回収率：80%

（省察）

職員の接遇に対してご意見を頂いた。日々の対応、保育内容の共有等、保護者の立場を考えた気持ちの良い対応を全職員ができるようにしていく。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

〈2〉報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 赤羽ルーム 施設長 佐々木俊彦